

事務連絡  
平成23年11月2日

各 都道府県  
保健所設置市  
特別区 衛生主管部（局）薬務主管課 御中

厚生労働省医薬食品局総務課

抗不安薬又は睡眠薬を服用している患者等への対応について

医薬行政の推進につきまして、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

今般、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課より、別添の「抗不安薬又は睡眠薬を服用している患者等への対応について」（平成23年11月1日付け事務連絡）が発出され、厚生労働省自殺うつ病等プロジェクトチーム過量服薬対策ワーキングチームにおいて取りまとめられた「抗不安薬睡眠薬の処方実態に関する報告」及び当該報告に係る厚生労働省の対応として「向精神薬の処方に関する実態調査結果を踏まえた対応について」が情報提供されました。

貴職におかれましても、これらの内容を了知の上、ご協力を願いするとともに、貴管内の薬局及び関係者等に対して周知方よろしくお願いします。





事務連絡  
平成23年11月1日

各都道府県・指定都市  
精神保健福祉主管課 御中

厚生労働省社会・援護局  
障害保健福祉部精神・障害保健課

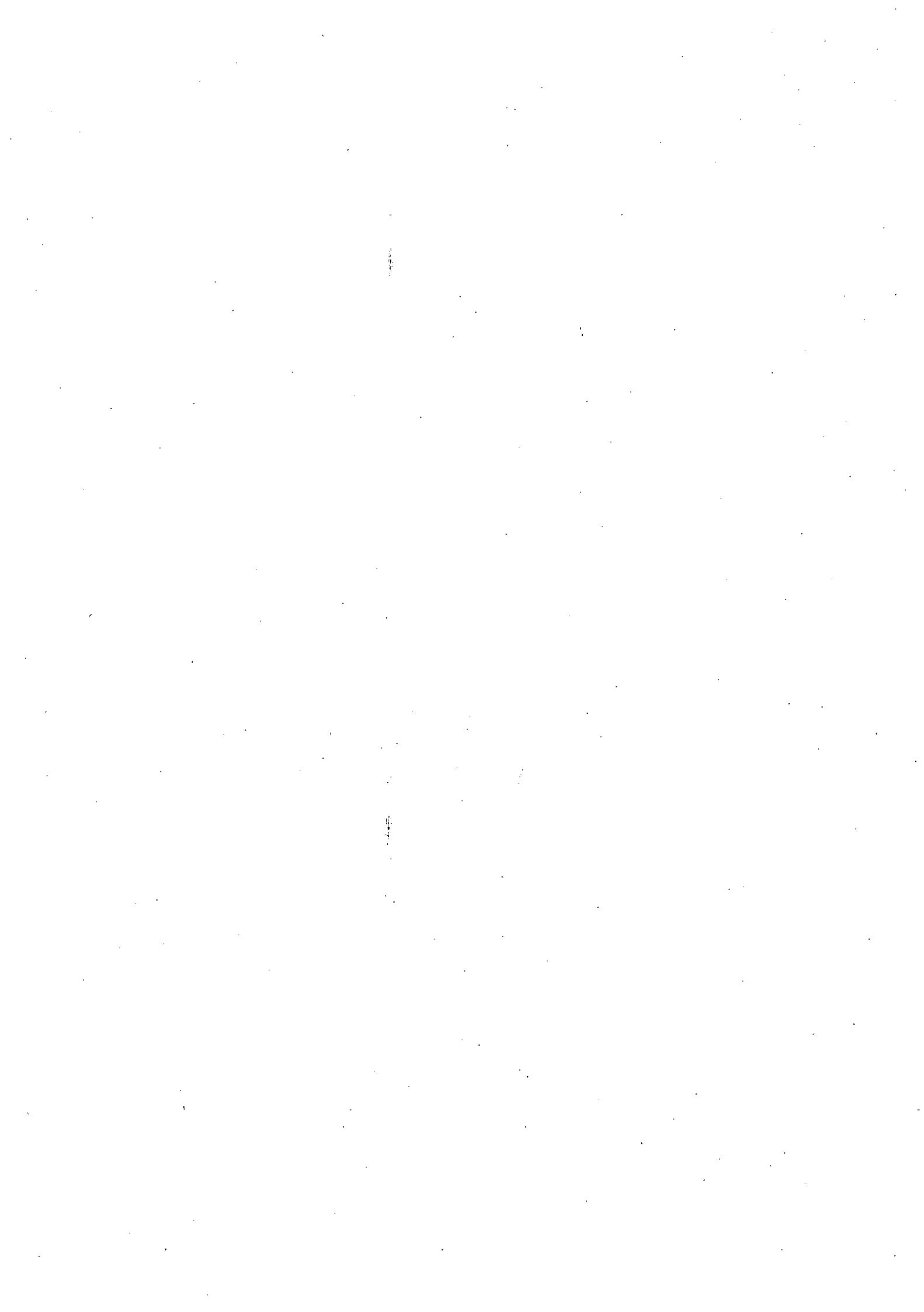
・抗不安薬又は睡眠薬を服用している患者等への対応について

精神保健福祉行政の推進につきましては、平素よりご協力いただきありがとうございます。

さて、厚生労働省自殺・うつ病等対策プロジェクトチーム：過量服薬対策ワーキングチームにおいて、別添1のとおり、抗不安薬・睡眠薬の処方実態に関する報告をまとめたので、情報提供します。

厚生労働省では、今後、本報告を踏まえて、別添2の対応を行うこととしていますので、ご協力をお願いするとともに、貴管内の医療機関、薬局及び関係者等に対して、周知方よろしくお願いします。

平成23年11月1日  
照会先  
社会・援護局障害保健福祉部  
精神・障害保健課  
課長補佐 本後 (3066)  
課長補佐 中谷 (3053)  
依存症対策専門官 蒲生 (3097)  
(電話・直通) : 03(3595)2307



## 抗不安薬・睡眠薬の処方実態についての報告

平成23年11月1日  
 厚生労働省 社会・援護局  
 障害保健福祉部精神・障害保健課

平成22年度 厚生労働科学研究費補助金 特別研究事業「向精神薬の処方実態に関する国内外の比較研究（研究代表者：中川敦夫 国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター臨床研究支援室）」を参考として、抗不安薬・睡眠薬の処方実態について主なポイントをまとめた。

### 1. 診療報酬データを用いた向精神薬処方に関する実態調査研究

健康保険組合加入者及びその家族計約33万人の診療報酬データより、2005-2009年の4月1日～6月30日までの間に「抗不安薬、睡眠薬、抗うつ薬、抗精神病薬のいずれかを処方された者」を抽出し分析した。本報告では抗不安薬、睡眠薬についてのデータを使用した。

#### (1) 処方率、単剤率

20-74歳の一般人口における各向精神薬が3ヶ月間に処方された人数の割合を上記診療報酬データより推定した（推定処方率）。2009年における推定処方率は抗不安薬で5.0%、睡眠薬で4.7%であった。一種類の向精神薬（単剤）が処方された割合（単剤率）は抗不安薬で83.6%、睡眠薬で72.7%であり、いずれの薬剤も処方されている受診者の割合は5%以下で、そのほとんどで処方薬は一種類であった。

#### (2) 投与量

2009年の受診者に対して処方された抗不安薬、睡眠薬について1日当たりに換算した処方力価の度数分布と累積度数を示した。（図1）

処方力価の換算とは、各向精神薬の作用する力を基準とする薬の作用する力に合わせ換算したものである。例えば、Aという抗不安薬1mgと同等な作用のために抗不安薬のジアゼパムが5mg必要だという場合、Aが2mg処方されていたらジアゼパム換算で10mg処方されたこととなる。抗不安薬についてはジアゼパムを、睡眠薬についてはフルニトラゼパムを力価換算基準薬とした。

添付文書で示されている抗不安薬のジアゼパムの用量である15mg以内の処方が95.8%、睡眠薬であるフルニトラゼパムの用量である2mg以内の処方が86.4%と、ほとんどの受診者で基準薬の添付文書に示された用量内の処方が行われていた。しかし抗不安薬では15mgを超える処方が

4. 2%みられ、処方量が40mgを超えるものが33例存在した。睡眠薬では2mgを超える処方が13.6%みられ、処方量が10mgを超えるものもみられた。

なお、本調査で用いたデータは診療報酬データから機械的に抽出したものであり、投薬内容が変更となった場合など1ヶ月の処方内容が一時的に多くなる場合の検証はなされていない。

(参考：添付文書上の用法・用量の抜粋)

ジアゼパム・・・1回 2~5mg を1日 2~4回経口投与する。ただし、外来患者は原則として1日量として15mg以内とする。

フルニトラゼパム・・・1日 0.5~2mg を就寝前又は手術前に経口投与する。

(注) 実際の向精神薬の処方においては、患者の病状に応じて、相当量の処方を行う必要がある場合や数種類の薬剤を併用する必要がある場合に、合計すれば力価換算により基準薬の用量を上回ることがある。

### (3) 処方薬剤数

2009年の処方では抗不安薬の単剤処方は83.6%、2剤処方は14.5%、3剤以上の処方は1.9%であった。睡眠薬の単剤処方は72.7%、2剤処方は21.2%、3剤以上の処方は6.1%であった。(図2)

2005年と比較し、抗不安薬では2剤以上の処方率が減少して単剤の処方率が増加した。睡眠薬では単剤での処方率がわずかに減少し、2剤での処方率が微増した。

(注) 実際の向精神薬の処方においては、患者の病状に応じ、薬の効果が持続する時間や効き目の強さなどの異なる抗不安薬、睡眠薬を組み合わせて使用する場合がある。

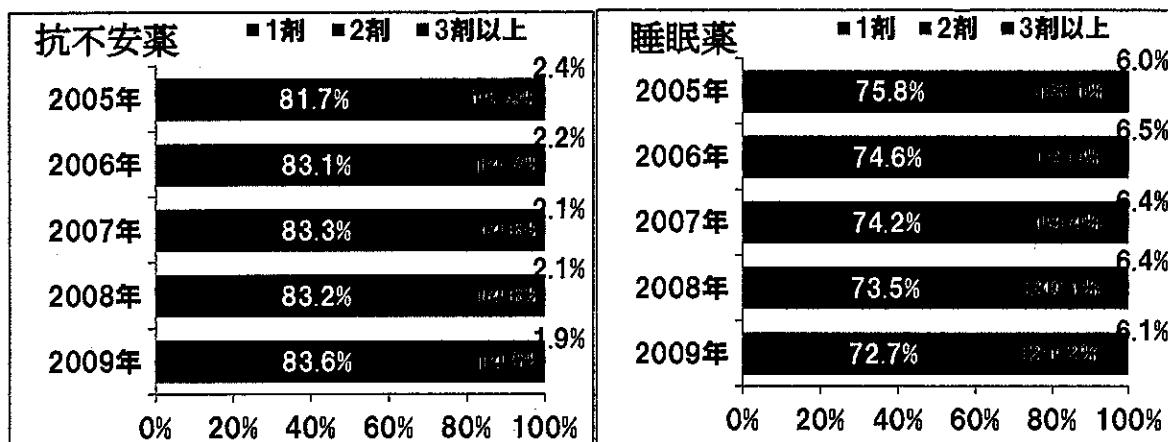


図2 2005年-2009年における処方薬剤数

## 2. 診療録データ等を用いた向精神薬処方に関する実態調査研究

日本の3ヶ所の私立精神科病院において2010年3月31日の時点での薬歴に関する電子データを利用して、抗不安薬、睡眠薬を処方された全患者3,257名について調査した。

本調査では抗不安薬、睡眠薬ともジアゼパムを力価換算基準薬とした。

抗不安薬又は睡眠薬が単剤で処方された場合のジアゼパム換算投与量は8.6mg、抗不安薬、睡眠薬の合計で2剤併用した場合は17.3mg、3剤併用では25.8mg、4剤併用では38.1mg、5剤併用では48.6mg、6剤以上の併用では72.1mgと、処方される薬剤の種類が増えるにつれ投与量が増加していた。(図3)

また、薬剤種類数についてみると、抗不安薬では、単剤処方は83.2%、2剤処方は15.4%、3剤処方は1.3%であり、睡眠薬では、単剤処方は62.0%、2剤処方は28.1%、3剤処方は7.5%であった。本結果は、1.の精神科以外の診療科も含む診療報酬データによる分析に比べ、調査対象が精神科病院であるため精神疾患が多いと推測されるが、この場合においても、3種類以上の薬剤を処方されている患者は少なかった。

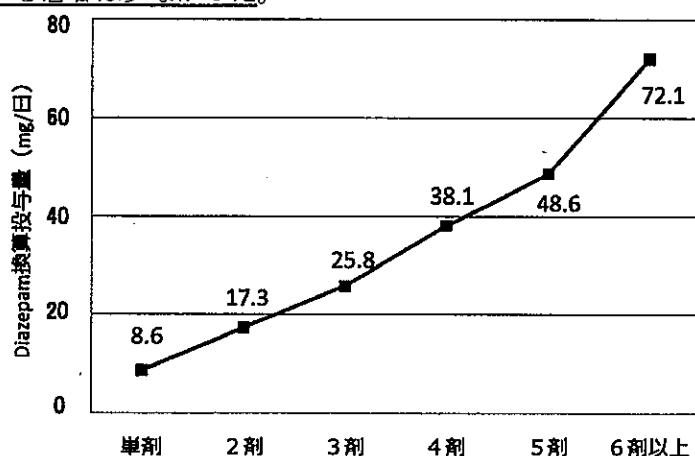


図3 抗不安薬、睡眠薬の剤数の合計とジアゼパム換算投与量

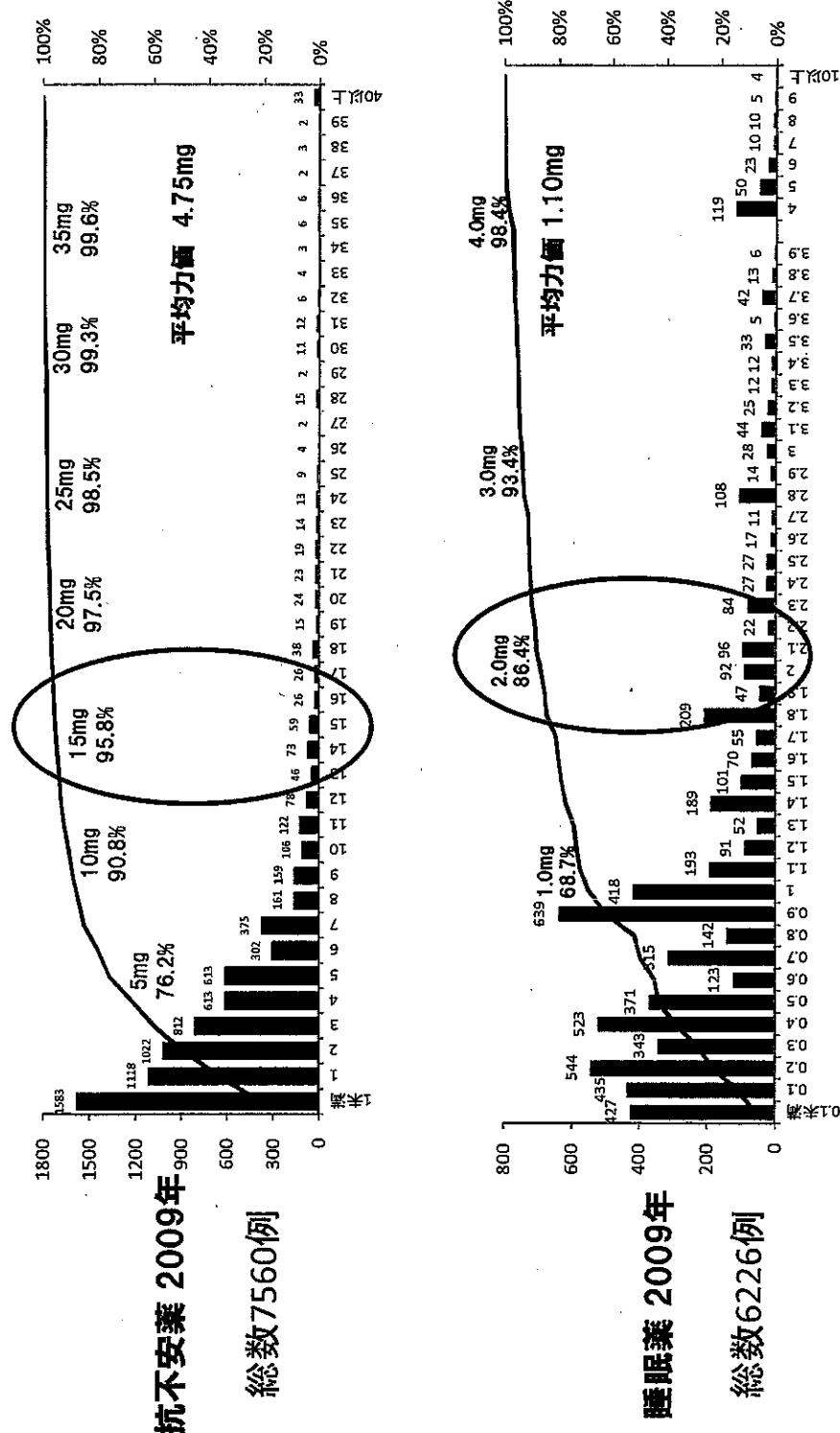


図1 抗不安薬、睡眠薬の1日当たりの処方力価について度数分布と累積度数

(参考)

**平成 22 年度 厚生労働科学研究費補助金 特別研究事業  
「向精神薬の処方実態に関する国内外の比較研究」**

研究代表者：中川敦夫（国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター一臨床研究支援室）

研究分担者：三島和夫（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神生理研究部）

稻垣 中（慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科）

佐渡充洋（慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室）

中林哲夫（国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター一臨床研究支援室）

吉尾 隆（東邦大学薬学部医療薬学教育センター臨床薬学研究室）

宮本有紀（東京大学大学院医学系研究科精神看護学分野）

**総括研究報告**

向精神薬の処方実態に関する国内外の比較研究（中川敦夫）

**分担研究報告**

**A. 向精神薬処方の実態調査研究**

○診療報酬データを用いた向精神薬処方に関する実態調査研究（三島和夫）

○診療録データ等を用いた向精神薬処方に関する実態調査研究（稻垣 中）

○初診のうつ病患者における投与薬剤の実態調査研究（中川敦夫、菊地俊暉）

**B. 向精神薬処方に関する国内外文献（エビデンス）調査研究**

○国内外データ・文献を用いた向精神薬処方に関する実態調査研究（佐渡充洋）

○抗うつ薬等の向精神薬の多剤併用に関する検討－海外文献を用いた調査研究（中川敦夫）

**C. 向精神薬に対する効果的な情報提供・支援法の開発に関する研究**

○薬剤師による向精神薬に対する効果的な情報提供・支援法の開発に関する研究（吉尾 隆）

○看護師等による向精神薬に対する効果的な情報提供・支援法の開発に関する研究（宮本有紀）



## 向精神薬の処方に関する実態調査結果を踏まえた対応について

自殺・うつ病等対策プロジェクトチームにおいて、平成22年9月に、「過量服薬への取組」をとりまとめ、その後、向精神薬の処方に関する実態調査を行っていたが、調査結果を踏まえた今後の対応を以下にまとめた。

### 1. 実態調査結果の公表と情報提供

- 今回の向精神薬（抗不安薬、睡眠薬、抗うつ薬、抗精神病薬）の処方に関する実態調査結果を公表するとともに、向精神薬の処方に関する実態調査を、今後も継続して行う。
- 厚生労働省ホームページ等を通じて、実態調査結果を公表するとともに、医療従事者や一般向けに、以下のような情報提供及び啓発を行う。
  - ① 調査結果によると、医療機関で抗不安薬の処方を受けている人のうち、抗不安薬が3種類以上の割合は1.9%、医療機関で睡眠薬の処方を受けている人のうち、睡眠薬が3種類以上の割合は6.1%、であり、抗不安薬又は睡眠薬のいずれかを3種類以上処方されている人の割合は少ないとこと。
  - ② 医療従事者に対しては以下のようないくつかの情報提供を行う。
    - ・抗不安薬や睡眠薬の処方に際しては、残薬の有無や他の医療機関からの処方の有無について確認する等、充分に注意を払っていただくこと。
    - ・抗不安薬や睡眠薬については、薬物依存の可能性等に注意し、同種の薬剤を3種類以上処方する必要性について充分に考慮していただくこと。
  - ③ 一般の方に対しては以下のようないくつかの情報提供を行う。
    - ・1回の処方で抗不安薬が3種類以上、又は、1回の処方で睡眠薬が3種類以上のいずれかの処方を受けている場合には、主治医に処方の内容について充分な確認をすること、あるいは、かかりつけの薬剤師等に確認すること等について、必要に応じ、検討していただくこと。

### 【参考資料】

- ・日本で使用されている抗不安薬の商品名一覧（別紙1）
- ・日本で使用されている睡眠薬の商品名一覧（別紙2）

- 審査支払機関に対しては、抗不安薬、睡眠薬の処方実態を踏まえた適切な審査がなされるよう、「抗不安薬・睡眠薬の処方実態についての報告」及び、前述の①～③について情報提供する。また、向精神薬の処方については、厚生労働省より、以下（※）の通知がなされていることについて、審査支払機関及び医療機関等へ周知徹底を図る。

（※）

「「療担規則及び薬担規則並びに療担基準に基づき厚生労働大臣が定める掲示事項等」及び「保険外併用療養費に係る厚生労働大臣が定める医薬品等」の実施上の留意事項について」の一部改正について（抄）（平成 22 年 3 月 26 日 保医発 0326 第 2 号）

第 10 厚生労働大臣が定める注射薬等（掲示事項等告示第 10 関係）

4 投薬期間に上限が設けられている医薬品

（4）投与期間に上限が設けられている麻薬又は向精神薬の処方は、薬物依存症候群の有無等、患者の病状や疾患の兆候に十分注意した上で、病状が安定し、その変化が予見できる患者に限って行うものとする。

そのほか、当該医薬品の処方に当たっては、当該患者に既に処方した医薬品の残量及び他の医療機関における同一医薬品の重複処方の有無について患者に確認し、診療録に記載するものとする。

2. 睡眠薬の投与に関するガイドラインの作成

- これまでの研究成果を踏まえ、日本睡眠学会における「睡眠薬の投与に関するガイドライン」の作成を支援する。  
なお、諸外国のガイドラインを参考に、我が国の医療状況を加味した、専門家向けのガイドラインについては、平成 23 年度末までを目途にとりまとめられるよう支援する。
- さらに、精神疾患に伴う睡眠障害の方への治療に関して、薬物治療の選択や変更等に関する診療ガイドラインの開発に資する研究を支援する。

## (別紙1)

使用薬剤の薬品(薬事基準)に収載されている医薬品について(平成23年9月12日現在)

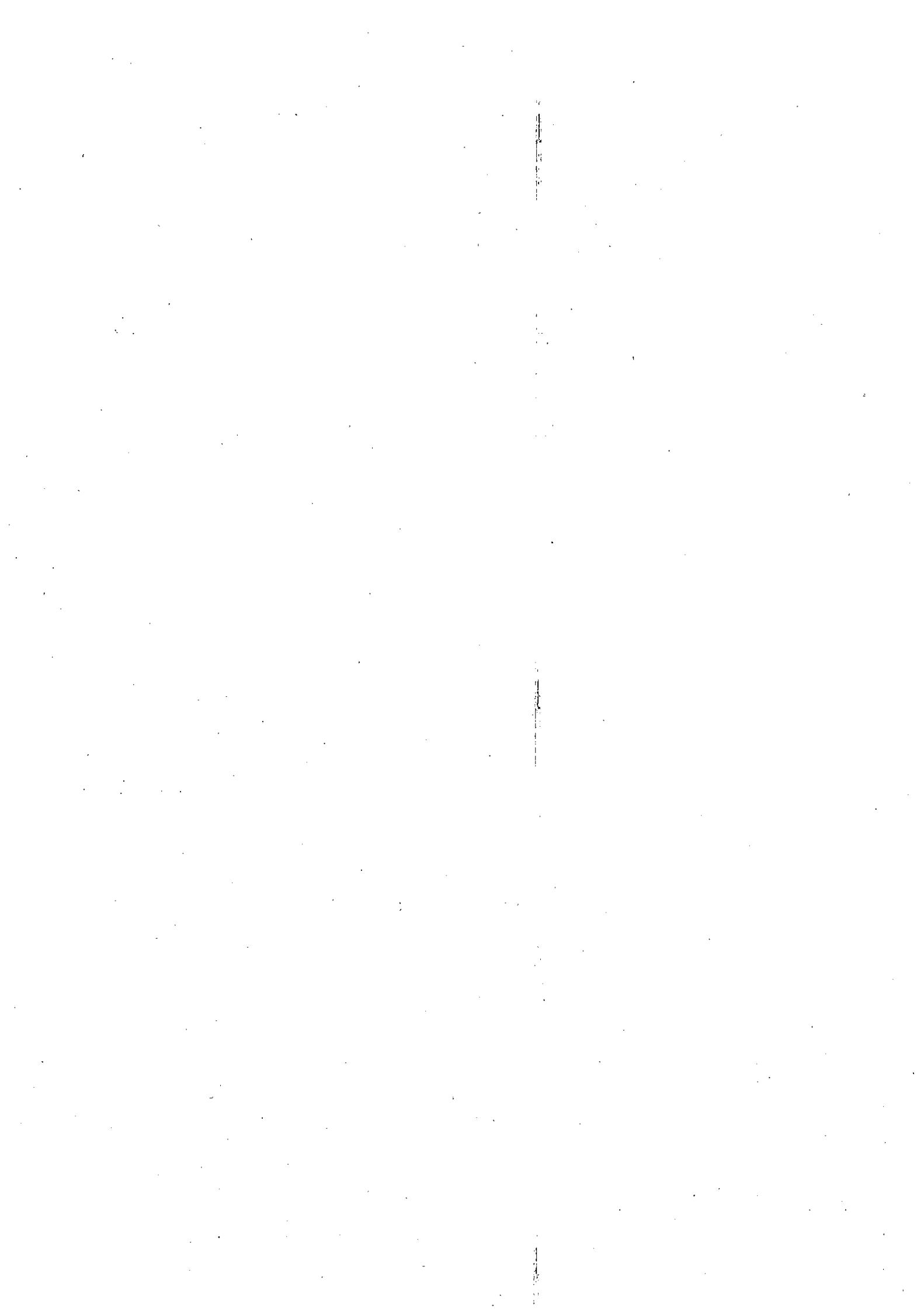
抗不安薬の抜粋

品名	成分名	メーカー
アズトレム錠1mg	ロフラゼブ酸エチル	高田製薬
アズトレム錠2mg	ロフラゼブ酸エチル	高田製薬
アズロゲン錠0.5	ロラゼパム	高田製薬
アズロゲン錠1.0	ロラゼパム	高田製薬
アソリタン錠0.4	アルブラゾラム	大洋薬品工業
アタラックスーPカプセル2.5mg	バモ酸ヒドロキシジン	ファイザー
アタラックスーPカプセル5.0mg	バモ酸ヒドロキシジン	ファイザー
アタラックスーPシロップ0.5%	バモ酸ヒドロキシジン	ファイザー
アタラックスーPドライシロップ2.5%	バモ酸ヒドロキシジン	ファイザー
アタラックスーP散1.0%	バモ酸ヒドロキシジン	ファイザー
アタラックス錠1.0mg	塩酸ヒドロキシジン	ファイザー
アタラックス錠2.5mg	塩酸ヒドロキシジン	ファイザー
アルブラゾラム錠0.4mg「トーワ」	アルブラゾラム	東和薬品
アルブラゾラム錠0.8mg「トーワ」	アルブラゾラム	東和薬品
アロファルム錠0.5	エチゾラム	日医工ファーマ
アロファルム錠1.0	エチゾラム	日医工ファーマ
イソクリン錠1.0mg	クロチアゼパム	沢井製薬
イソクリン糖衣錠6	クロチアゼパム	沢井製薬
エチカーム錠0.5mg	エチゾラム	東和薬品
エチカーム錠1mg	エチゾラム	東和薬品
エチセダン錠0.5mg	エチゾラム	共和薬品工業
エチセダン錠1mg	エチゾラム	共和薬品工業
エチゾラム錠0.5mg「EMEC」	エチゾラム	サンノーパ
エチゾラン錠0.5mg	エチゾラム	小林化工
エチゾラン錠1mg	エチゾラム	小林化工
エマンダキシン錠5.0mg	トフィンバム	長生堂製薬
エリスパン錠0.1%	フルジアゼパム	大日本住友製薬
エリスパン錠0.25mg	フルジアゼパム	大日本住友製薬
カームダン錠0.4mg	アルブラゾラム	共和薬品工業
カームダン錠0.8mg	アルブラゾラム	共和薬品工業
カブセーフ錠0.5mg	エチゾラム	大原薬品工業
カブセーフ錠1mg	エチゾラム	大原薬品工業
グベリース錠0.5mg	エチゾラム	ニプロジェネファ
クラソパン錠5.0mg	トフィンバム	日本ジェネリック
グランダキシン錠粒1.0%	トフィンバム	持田製薬
グランダキシン錠5.0	トフィンバム	持田製薬
グランバム錠5.0mg	トフィンバム	東和薬品
クロチアゼパム錠1.0mg「トーワ」	クロチアゼパム	東和薬品
クロチアゼパム錠5mg「トーワ」	クロチアゼパム	東和薬品
1.0mgコントール錠(*)	クロルジアゼボキシド	武田薬品工業
5mgコントール錠(*)	クロルジアゼボキシド	武田薬品工業
コバンダキシン錠5.0mg	トフィンバム	小林化工
コレミナール錠1%	フルタゾラム	沢井製薬
コレミナール錠4mg	フルタゾラム	沢井製薬
コンスーン錠1.0(*)	クロルジアゼボキシド	鈴原製薬
コンスーン錠5(*)	クロルジアゼボキシド	鈴原製薬
コンスーン散1%(*)	クロルジアゼボキシド	鈴原製薬
コンスタン0.4mg錠	アルブラゾラム	武田薬品工業
コンスタン0.8mg錠	アルブラゾラム	武田薬品工業
コントール散1%	クロルジアゼボキシド	武田薬品工業
コントール散1.0%(*)	クロルジアゼボキシド	武田薬品工業
サイラゼパム錠0.5	エチゾラム	日医工ファーマ
サイラゼパム錠1	エチゾラム	日医工ファーマ
ジアゼパム散1%「アメル」	ジアゼパム	共和薬品工業
ジアゼパム錠2「サワイ」	ジアゼパム	沢井製薬
ジアゼパム錠2「トーワ」	ジアゼパム	東和薬品
ジアゼパム錠2mg「アメル」	ジアゼパム	共和薬品工業
ジアゼパム錠5「トーワ」	ジアゼパム	東和薬品
ジアゼパム錠5mg「アメル」	ジアゼパム	共和薬品工業
ジアパックス錠2mg	ジアゼパム	大鵬薬品工業
ジアパックス錠5mg	ジアゼパム	大鵬薬品工業
ジスロン錠	塩酸ヒドロキシジン	ナガセ医薬品
ジメトックス錠1	ロフラゼブ酸エチル	日医工ファーマ
ジメトックス錠2	ロフラゼブ酸エチル	日医工ファーマ
奥化カリウム(*)	奥化カリウム	山善製薬
奥化ナトリウム(*)	奥化ナトリウム	山善製薬
スカルナーゼ錠1mg	ロフラゼブ酸エチル	東和薬品
スカルナーゼ錠2mg	ロフラゼブ酸エチル	東和薬品
1.0mgセルシン錠	ジアゼパム	武田薬品工業
2mgセルシン錠	ジアゼパム	武田薬品工業
5mgセルシン錠	ジアゼパム	武田薬品工業
セエルカム錠1.0	ジアゼパム	鈴原製薬
セエルカム錠2	ジアゼパム	鈴原製薬
セエルカム錠5	ジアゼパム	鈴原製薬
セダブランコーウ錠1.0	ブラゼパム	興和
セダブランコーウ錠5	ブラゼパム	興和
セディール錠1.0mg	クエン酸タンドスピロン	大日本住友製薬

セディール錠 2.0 mg	クエン酸タンドスピロン	大日本住友製薬
セディール錠 5 mg	クエン酸タンドスピロン	大日本住友製薬
セデコパン細粒 1%	エチゾラム	長生堂製薬
セデコパン錠 0.5 mg	エチゾラム	長生堂製薬
セデコパン錠 1 mg	エチゾラム	長生堂製薬
セニラン細粒 1%	プロマゼパム	サンド
セニラン錠 2 mg	プロマゼパム	サンド
セニラン錠 3 mg	プロマゼパム	サンド
セニラン錠 5 mg	プロマゼパム	サンド
セバゾン散 1%	クロキサゾラム	第一三共
セバゾン錠 1	クロキサゾラム	第一三共
セバゾン錠 2	クロキサゾラム	第一三共
セルシンシロップ 0.1%	ジアゼパム	武田薬品工業
セルシン散 1%	ジアゼパム	武田薬品工業
セレナール散 10%	オキサゾラム	第一三共
セレナール錠 1.0	オキサゾラム	第一三共
セレナール錠 5	オキサゾラム	第一三共
セレナミン錠 2 mg	ジアゼパム	旭化成ファーマ
セレナミン錠 5 mg	ジアゼパム	旭化成ファーマ
ソラナックス 0.4 mg錠	アルブラゾラム	ファイザー
ソラナックス 0.8 mg錠	アルブラゾラム	ファイザー
タンドスピロンクエン酸塩錠 1.0 mg 「アメル」	クエン酸タンドスピロン	共和薬品工業
タンドスピロンクエン酸塩錠 1.0 mg 「サイ」	クエン酸タンドスピロン	沢井製薬
タンドスピロンクエン酸塩錠 1.0 mg 「トーワ」	クエン酸タンドスピロン	東和薬品
タンドスピロンクエン酸塩錠 1.0 mg 「日医工」	クエン酸タンドスピロン	日医工
タンドスピロンクエン酸塩錠 2.0 mg 「アメル」	クエン酸タンドスピロン	共和薬品工業
タンドスピロンクエン酸塩錠 2.0 mg 「サイ」	クエン酸タンドスピロン	沢井製薬
タンドスピロンクエン酸塩錠 2.0 mg 「トーワ」	クエン酸タンドスピロン	東和薬品
タンドスピロンクエン酸塩錠 2.0 mg 「日医工」	クエン酸タンドスピロン	日医工
タンドスピロンクエン酸塩錠 5 mg 「アメル」	クエン酸タンドスピロン	共和薬品工業
タンドスピロンクエン酸塩錠 5 mg 「サイ」	クエン酸タンドスピロン	沢井製薬
タンドスピロンクエン酸塩錠 5 mg 「トーワ」	クエン酸タンドスピロン	東和薬品
タンドスピロンクエン酸塩錠 5 mg 「日医工」	クエン酸タンドスピロン	日医工
ツルペール細粒 10%	トフィンパム	鶴原製薬
デゾラム錠 0.5 mg	エチゾラム	大正薬品工業
デゾラム錠 1 mg	エチゾラム	大正薬品工業
デパス細粒 1%	エチゾラム	田辺三菱製薬
デパス錠 0.5 mg	エチゾラム	田辺三菱製薬
デパス錠 1 mg	エチゾラム	田辺三菱製薬
デムナット錠 0.5 mg	エチゾラム	鶴原製薬
デムナット錠 1 mg	エチゾラム	鶴原製薬
トフィール錠 5.0 mg	トフィンパム	大原薬品工業
トフィス錠 5.0 mg	トフィンパム	メディサ新薬
トフィンパム細粒 10% 「CH」	トフィンパム	長生堂製薬
トフィルシン錠 5.0	トフィンパム	シオノケミカル
トルバナシン錠 5.0	トフィンパム	大正薬品工業
トロンヘイム錠 5.0 mg	トフィンパム	日医工ファーマ
ナオリーゼ錠 1.0 mg	クロチアゼパム	鶴原製薬
ナオリーゼ錠 5 mg	クロチアゼパム	鶴原製薬
ノンネルブ錠 0.5	エチゾラム	日新製薬(山形)
ノンネルブ錠 1	エチゾラム	日新製薬
パールキット散 1%	ジアゼパム	ニプロファーマ
パールキット錠 2 mg	ジアゼパム	ニプロファーマ
パールキット錠 5 mg	ジアゼパム	ニプロファーマ
ハイダキシン錠 5.0 mg	トフィンパム	ナガセ医薬品
ハイミジン錠 5.0 mg	トフィンパム	ニプロジェネファ
ハタナジン錠	バモ酸ヒドロキシジン	日新製薬(山形)
ハタナジン錠 2.5 mg	バモ酸ヒドロキシジン	日新製薬(山形)
バムネース細粒	メダゼパム	東邦新薬
バムネース錠 2	メダゼパム	東邦新薬
バムネース錠 5	メダゼパム	東邦新薬
バランス錠 1.0 mg (*)	クロルジアゼポキシド	アステラス製薬
バランス錠 5.0 mg (*)	クロルジアゼポキシド	アステラス製薬
バランス散 1.0% (*)	クロルジアゼポキシド	アステラス製薬
バルギン錠 0.5 mg	エチゾラム	藤永製薬
バルギン錠 1 mg	エチゾラム	藤永製薬
ベルサール細粒 10%	オキサゾラム	イセイ
ベルサール錠 1.0 mg	オキサゾラム	イセイ
ベルサール錠 2.0 mg	オキサゾラム	イセイ
ホリゾン散 1%	ジアゼパム	アステラス製薬
ホリゾン錠 2 mg	ジアゼパム	アステラス製薬
ホリゾン錠 5 mg	ジアゼパム	アステラス製薬
マイロニン錠 5.0 mg	トフィンパム	キヨーリンリメディオ
メイラックス細粒 1%	ロフラゼブ酸エチル	Meiji Seika ファルマ
メイラックス錠 1 mg	ロフラゼブ酸エチル	Meiji Seika ファルマ
メイラックス錠 2 mg	ロフラゼブ酸エチル	Meiji Seika ファルマ
メダゼパム錠 2 (ツルハラ)	メダゼパム	鶴原製薬
メダゼパム錠 5 (ツルハラ)	メダゼパム	鶴原製薬
メディピース錠 0.5	エチゾラム	メディサ新薬
メディピース錠 1	エチゾラム	メディサ新薬
メディタックス錠 1	ロフラゼブ酸エチル	メディサ新薬

メデタックス錠2	ロフラゼブ酸エチル	メディサ新薬
メデボリン錠0.4	アルブラゾラム	メディサ新薬
メデボリン錠0.8	アルブラゾラム	メディサ新薬
メレックス錠0.1%	メキサゾラム	第一三共
メレックス錠0.5mg	メキサゾラム	第一三共
メレックス錠1mg	メキサゾラム	第一三共
メンドンカソル7.5mg	クロラゼブ酸ニカリウム	アボットジャパン
モーズン錠0.5mg	エチゾラム	辰巳化学
モーズン錠1mg	エチゾラム	辰巳化学
ユーパン錠0.5mg	ロラゼバム	沢井製薬
ユーパン錠1.0mg	ロラゼバム	沢井製薬
リーゼ錠10mg	クロチアゼバム	田辺三菱製薬
リーゼ錠5mg	クロチアゼバム	田辺三菱製薬
リーゼ顆粒1.0%	クロチアゼバム	田辺三菱製薬
リリバー散1%	ジアゼバム	マイラン製薬
リリフター錠1.0	クロチアゼバム	日医工ファーマ
リリフター錠5	クロチアゼバム	日医工ファーマ
リルミン錠5	クロチアゼバム	大洋薬品工業
レキソタン錠1%	プロマゼバム	中外製薬
レキソタン錠1	プロマゼバム	中外製薬
レキソタン錠2	プロマゼバム	中外製薬
レキソタン錠5	プロマゼバム	中外製薬
レスタス錠2mg	フルトブラゼバム	MSD
レスミット錠2	メダゼバム	塩野義製薬
レスミット錠5	メダゼバム	塩野義製薬
ロンラックス錠1mg	ロフラゼブ酸エチル	シオノケミカル
ロンラックス錠2mg	ロフラゼブ酸エチル	シオノケミカル
ワイパックス錠0.5	ロラゼバム	ファイザ
ワイパックス錠1.0	ロラゼバム	ファイザ

(\*)統一名取載



## (別紙2)

使用薬剤の薬価(薬価基準)に収載されている医薬品について(平成23年9月12日現在)

睡眠薬の振替

品名	成分名	メーカー
アサцион0.25mg錠	トリアゾラム	長生堂製薬
アスコマーナ錠0.25	トリアゾラム	日新製薬(山形)
アムネゾン錠0.25mg	プロチゾラム	日新製薬(山形)
アモバンテス錠1.0	ゾビクロン	小林化工
アモバンテス錠7.5	ゾビクロン	小林化工
アモバン錠1.0	ゾビクロン	サノフィ・アベンティス
アモバン錠7.5	ゾビクロン	サノフィ・アベンティス
アロファルム錠0.5	エチゾラム	日医工ファーマ
アロファルム錠1.0	エチゾラム	日医工ファーマ
イソミタール原末(*)	アモバルドビタール	日本新薬
エスタゾラム錠1mg「アメル」	エスタゾラム	共和薬品工業
エスタゾラム錠2mg「アメル」	エスタゾラム	共和薬品工業
エチカーム錠0.5mg	エチゾラム	東和薬品
エチカーム錠1mg	エチゾラム	東和薬品
エチセダン錠0.5mg	エチゾラム	共和薬品工業
エチセダン錠1mg	エチゾラム	共和薬品工業
エチゾラム錠0.5mg「EMEC」	エチゾラム	サンノーパ
エチゾラン錠0.5mg	エチゾラム	小林化工
エチゾラン錠1mg	エチゾラム	小林化工
エバミール錠1.0	ロルメタゼパム	バイエル薬品
エリミン錠3mg	ニメタゼパム	大日本住友製薬
エリミン錠5mg	ニメタゼパム	大日本住友製薬
塩酸リルマザホン錠1「MEEK」	塩酸リルマザホン	小林化工
塩酸リルマザホン錠2「MEEK」	塩酸リルマザホン	小林化工
カブセーフ錠0.5mg	エチゾラム	大原薬品工業
カブセーフ錠1mg	エチゾラム	大原薬品工業
カムリトン0.25mg錠	トリアゾラム	寿製薬
クアゼパム錠1.5mg「MNP」	クアゼパム	日新製薬(山形)
クアゼパム錠1.5mg「YD」	クアゼパム	腸進堂
クアゼパム錠1.5mg「アメル」	クアゼパム	共和薬品工業
クアゼパム錠1.5mg「ワワイ」	クアゼパム	沢井製薬
クアゼパム錠1.5mg「トーワ」	クアゼパム	東和薬品
クアゼパム錠1.5mg「日医工」	クアゼパム	日医工
クアゼパム錠2.0mg「MNP」	クアゼパム	日新製薬(山形)
クアゼパム錠2.0mg「YD」	クアゼパム	腸進堂
クアゼパム錠2.0mg「アメル」	クアゼパム	共和薬品工業
クアゼパム錠2.0mg「ワワイ」	クアゼパム	沢井製薬
クアゼパム錠2.0mg「トーワ」	クアゼパム	東和薬品
クアゼパム錠2.0mg「日医工」	クアゼパム	日医工
グッドミン錠0.25mg	プロチゾラム	田辺三菱製薬
グベリース錠0.5mg	エチゾラム	ニプロジェネファ
サイラゼパム錠0.5	エチゾラム	日医工ファーマ
サイラゼパム錠1	エチゾラム	日医工ファーマ
サイレス錠1mg	フルニトライゼパム	エーザイ
サイレス錠2mg	フルニトライゼパム	エーザイ
「純生」プロムワレリル尿素	プロムワレリル尿素	純生薬品工業
「純生」ルミナル散(*)	フェノバルビタール	純生薬品工業
スローハイム錠1.0	ゾビクロン	共和薬品工業
スローハイム錠7.5	ゾビクロン	共和薬品工業
ゼストロミン錠0.25mg	プロチゾラム	東和薬品
セデコパン細粒1%	エチゾラム	長生堂製薬
セデコパン錠0.5mg	エチゾラム	長生堂製薬
セデコパン錠1mg	エチゾラム	長生堂製薬
ゾビクール錠1.0	ゾビクロン	沢井製薬
ゾビクール錠7.5	ゾビクロン	沢井製薬
ゾビクロン錠1.0mg「トーワ」	ゾビクロン	東和薬品
ゾビクロン錠7.5mg「トーワ」	ゾビクロン	東和薬品
ゾメリン細粒1%	ハロキサゾラム	第一三共
ゾメリン錠1.0mg	ハロキサゾラム	第一三共
ゾメリン錠5mg	ハロキサゾラム	第一三共
ソレントミン錠0.25mg	プロチゾラム	大正薬品工業
ダルメートカプセル1.5	塩酸フルラゼパム	共和薬品工業
チスボン錠1.0	ニトラゼパム	鈴原製薬
チスボン錠5'	ニトラゼパム	鈴原製薬
デゾラム錠0.5mg	エチゾラム	大正薬品工業
デゾラム錠1mg	エチゾラム	大正薬品工業
デバス錠1%	エチゾラム	田辺三菱製薬
デバス錠0.5mg	エチゾラム	田辺三菱製薬
デバス錠1mg	エチゾラム	田辺三菱製薬
デムナット錠0.5mg	エチゾラム	鈴原製薬
デムナット錠1mg	エチゾラム	鈴原製薬
ドバリール錠1.0	ゾビクロン	キヨーリンリメディオ
ドバリール錠7.5	ゾビクロン	キヨーリンリメディオ
ドラール錠1.5	クアゼパム	久光製薬
ドラール錠2.0	クアゼパム	久光製薬
トリアゾラム錠0.125mg「EMEC」	トリアゾラム	サンノーパ
トリアゾラム錠0.125mg「JG」	トリアゾラム	大興製薬

トリアゾラム錠0.25mg「JG」	トリアゾラム	大興製薬
トリアゾラム錠0.25mg「TSU」	トリアゾラム	鶴原製薬
トリアゾラム錠0.25mg	トリアゾラム	小林化工
トリクロリールシロップ10%	トリクロホスナトリウム	アルフレッサファーマ
ニトラゼバム錠5mg「トーフ」	ニトラゼバム	東和薬品
ネスグン錠「0.25」	トリアゾラム	辰巳化学
ネストローム錠0.25mg	プロチゾラム	辰巳化学
・ネルボン散1%	ニトラゼバム	第一三共
・ネルボン錠1.0mg	ニトラゼバム	第一三共
・ネルボン錠5mg	ニトラゼバム	第一三共
・ネルロレン錠1%	ニトラゼバム	辰巳化学
・ネルロレン錠「1.0」	ニトラゼバム	辰巳化学
・ネルロレン錠「5」	ニトラゼバム	辰巳化学
・ノイグロニック錠5	ニトラゼバム	大洋薬品工業
・ノクスター錠0.25mg	プロチゾラム	アルフレッサファーマ
・ノンネルブ錠0.5	エチゾラム	日新製薬(山形)
・ノンネルブ錠1	エチゾラム	日新製薬
・バルギン錠0.5mg	エチゾラム	藤永製薬
・バルギン錠1mg	エチゾラム	藤永製薬
・ハルシオン0.125mg錠	トリアゾラム	ファイザー
・ハルシオン0.25mg錠	トリアゾラム	ファイザー
・バルビタール「ホエイ」(*)	バルビタール	マイラン製薬
・ハルラック錠0.125mg	トリアゾラム	富士薬品
・ハルラック錠0.25mg	トリアゾラム	富士薬品
・ハルレオン錠0.125mg	トリアゾラム	大洋薬品工業
・ハルレオン錠0.25mg	トリアゾラム	大洋薬品工業
・ビピットエース錠1mg	フルニトラゼバム	辰巳化学
・ビピットエース錠2mg	フルニトラゼバム	辰巳化学
・ヒルスカミン錠5mg	ニトラゼバム	イセイ
・フェノパールエリキシル0.4%	フェノバルビタール	藤永製薬
・フェノパール原末	フェノバルビタール	藤永製薬
・フェノパール散10%	フェノバルビタール	藤永製薬
・フェノパール錠3.0mg	フェノバルビタール	藤永製薬
・フェノバルビタール「ホエイ」	フェノバルビタール	マイラン製薬
・フェノバルビタール散10%「JG」	フェノバルビタール	日本ジェネリック
・フェノバルビタール散10%「シオエ」	フェノバルビタール	シオエ製薬
・フェノバルビタール散10%「ヒシヤマ」	フェノバルビタール	ニプロファーマ
・フェノバルビタール散10%「ヒシヤマ」(*)	フェノバルビタール	ニプロファーマ
・フェノバルビタール散10%「ホエイ」(*)	フェノバルビタール	マイラン製薬
・フェノバルビタール散10%「マルイシ」	フェノバルビタール	丸石製薬
・フルトラース錠1mg	フルニトラゼバム	シオノケミカル
・フルニトラゼバム錠1mg「アメル」	フルニトラゼバム	共和薬品工業
・フルニトラゼバム錠2mg「アメル」	フルニトラゼバム	共和薬品工業
・プロゾーム錠0.125mg	プロチゾラム	ニプロファーマ
・プロゾーム錠0.25mg	プロチゾラム	ニプロファーマ
・プロチゾラムM錠0.25「EMEC」	プロチゾラム	サンノーバ
・プロチゾラムOD錠0.25mg「JG」	プロチゾラム	大興製薬
・プロチゾラムOD錠0.25mg「タヨー」	プロチゾラム	大洋薬品工業
・プロチゾラム錠0.25mg「CH」	プロチゾラム	長生堂製薬
・プロチゾラム錠0.25mg「JG」	プロチゾラム	大興製薬
・プロチゾラム錠0.25mg「YD」	プロチゾラム	陽達堂
・プロチゾラム錠0.25mg「タヨー」	プロチゾラム	大洋薬品工業
・プロチゾラン錠0.25mg	プロチゾラム	日医工
・プロバリン原末	プロムワレリル尿素	日本新薬
・プロムワレリル尿素(山善)	プロムワレリル尿素	山善製薬
・プロムワレリル尿素(ハチ)	プロムワレリル尿素	東洋製薬化成
・プロムワレリル尿素「JG」	プロムワレリル尿素	日本ジェネリック
・プロムワレリル尿素「ヒシヤマ」(*)	プロムワレリル尿素	ニプロファーマ
・プロムワレリル尿素「ホエイ」	プロムワレリル尿素	マイラン製薬
・プロムワレリル尿素「メタル」	プロムワレリル尿素	中北薬品
・プロムワレリル尿素「三恵」	プロムワレリル尿素	三恵薬品
・プロメトン錠0.25mg	プロチゾラム	マイラン製薬
・プロモバレリル尿素「ヨシダ」	プロムワレリル尿素	吉田製薬
・プロモバレリル尿素原末「マルイシ」	プロムワレリル尿素	丸石製薬
・ペゲタミン-A配合錠	クロルプロマジン・プロメタジン	塩野義製薬
・ペゲタミン-B配合錠	クロルプロマジン・プロメタジン	塩野義製薬
・ペゲタミン錠-A	クロルプロマジン・プロメタジン	塩野義製薬
・ペゲタミン錠-B	クロルプロマジン・プロメタジン	塩野義製薬
・ペノジールカプセル1.0	塩酸フルラゼバム	協和発酵キリン
・ペノジールカプセル1.5	塩酸フルラゼバム	協和発酵キリン
・ベンザリン細粒1%	ニトラゼバム	塩野義製薬
・ベンザリン錠1.0	ニトラゼバム	塩野義製薬
・ベンザリン錠2	ニトラゼバム	塩野義製薬
・ベンザリン錠5	ニトラゼバム	塩野義製薬
・抱水クロラール「ホエイ」(*)	抱水クロラール	マイラン製薬
・マイスリー錠1.0mg	酒石酸ソルビデム	アステラス製薬
・マイスリー錠5mg	酒石酸ソルビデム	アステラス製薬
・ミンザイン錠0.125mg	トリアゾラム	日医工
・ミンザイン錠0.25mg	トリアゾラム	日医工
・メディピース錠0.5	エチゾラム	メディサ新薬
・メディピース錠1	エチゾラム	メディサ新薬

メトローム錠1.0	ゾビクリン	辰巳化学
メトローム錠7.5	ゾビクリン	辰巳化学
モーズン錠0.5mg	エチソラム	辰巳化学
モーズン錠1mg	エチソラム	辰巳化学
ユーロジン1mg錠	エスタゾラム	武田薬品工業
ユーロジン2mg錠	エスタゾラム	武田薬品工業
ユーロジン散1%	エスタゾラム	武田薬品工業
ラボナ錠5.0mg	ペントバルビタールカルシウム	田辺三菱製薬
リスミー錠1mg	塩酸リルマザホン	塩野義製薬
リスミー錠2mg	塩酸リルマザホン	塩野義製薬
レドルバー錠0.25mg	プロチゾラム	大原薬品工業
レンデムD錠0.25mg	プロチゾラム	メディサ新薬
レンデム錠0.25mg	プロチゾラム	メディサ新薬
レンドルミンD錠0.25mg	プロチゾラム	日本ベーリングガーイングルハイム
レンドルミン錠0.25mg	プロチゾラム	日本ベーリングガーイングルハイム
ロヒブノール錠1	フルニトラゼパム	中外製薬
ロヒブノール錠2	フルニトラゼパム	中外製薬
ロラメント錠1.0	ロルメタゼパム	あすか製薬
ロンフルマン錠0.25mg	プロチゾラム	共和薬品工業

(\*)統一名収載

